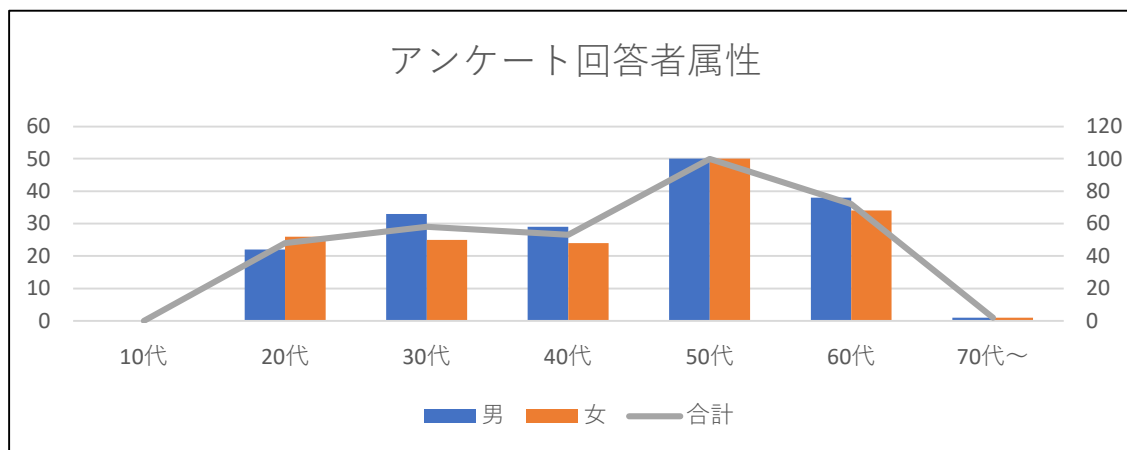


- アンケート実施月 2023.7月号回答数
- アンケート回答状況 (※男女数は参考値)

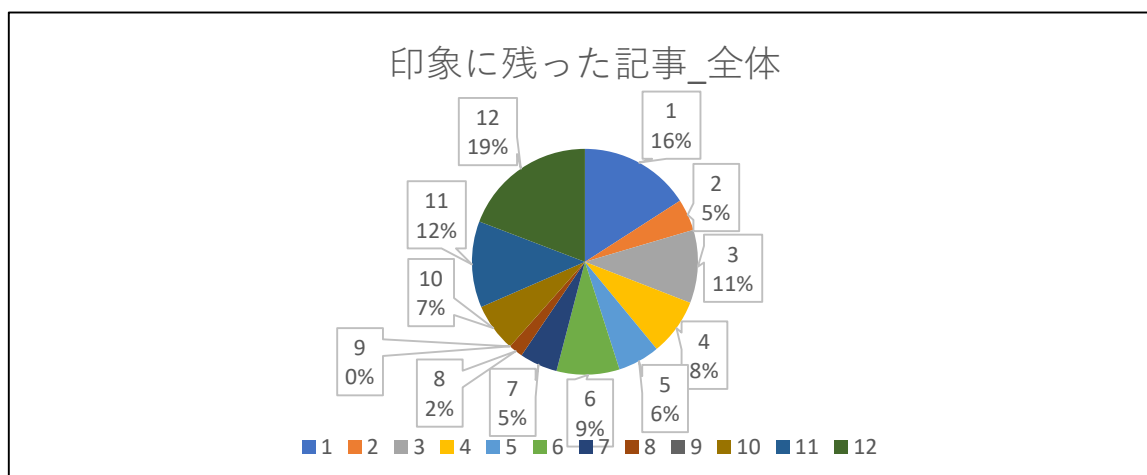
	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代～	合計
男	0	22	33	29	50	38	1	173
女	0	26	25	24	50	34	1	160
合計	0	48	58	53	100	72	2	333



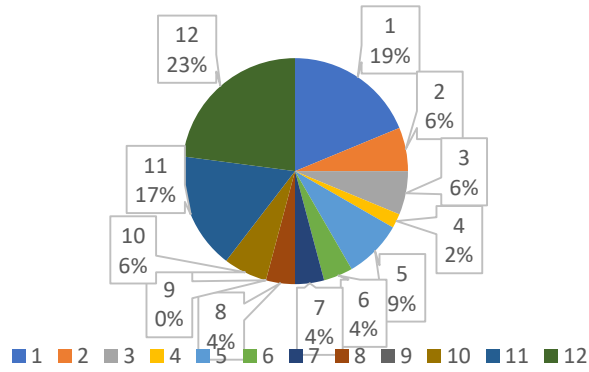
3. 印象に残った記事 (性別、掲載面)

【記事一覧】

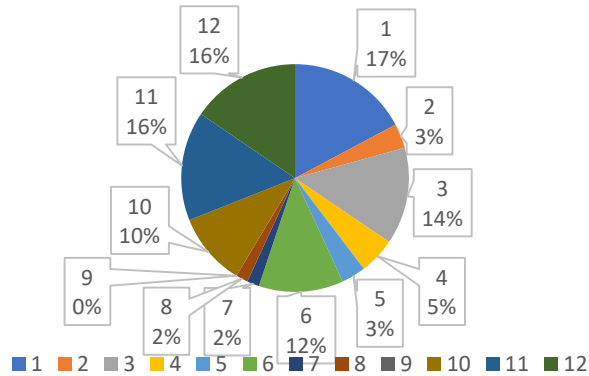
- 都本部2023ジェンダー平等推進闘争
- 7月は安全衛生月間
- 第1回女性労働カフェ
- 東奔西走
- 2023人員確保闘争・現業統一闘争(第1次闘争)
- 2023ジェンダー平等推進・多様性尊重学習会
- 都本部臨時・非常勤協議会 学習会
- くらしをささえる地域公共交通確立キャンペーン
- 都本部・自治体議員連合 第32回臨時総会
- 私のおすすめ
- 機関紙パズル ほっと一息
- スポーツ大会東京都代表決定戦



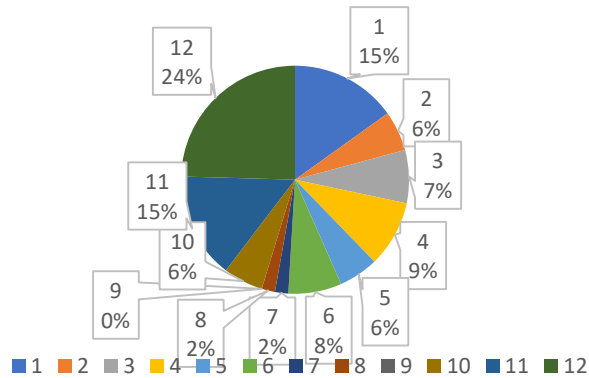
印象に残った記事_20代



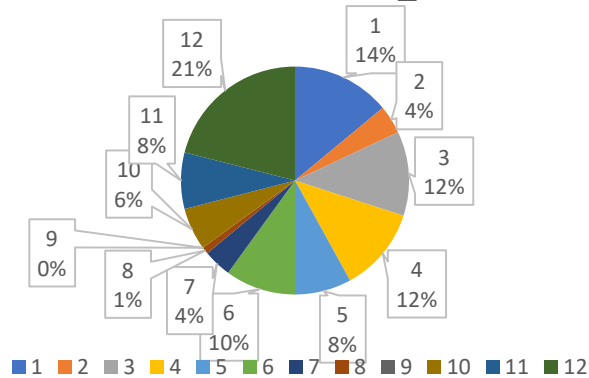
印象に残った記事_30代

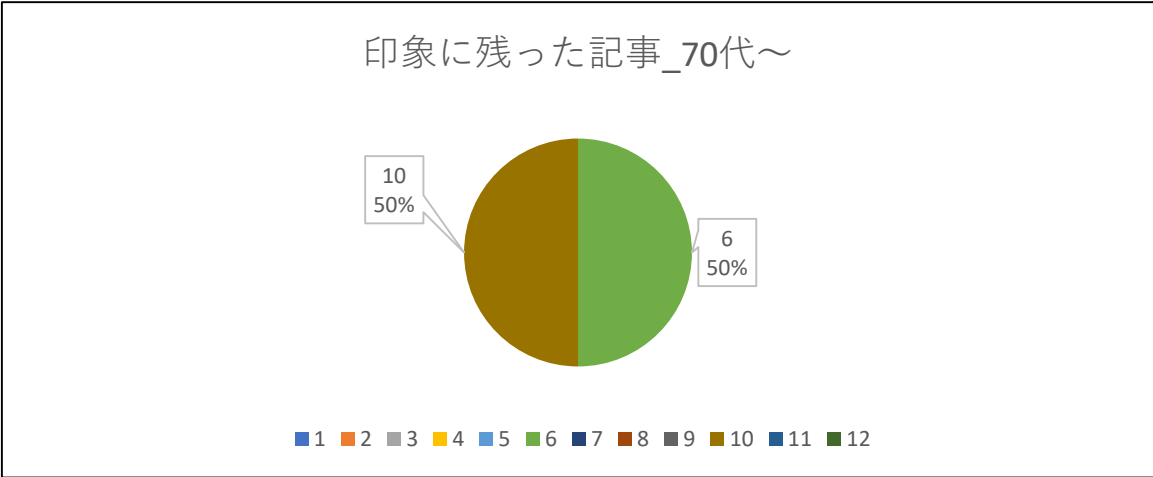
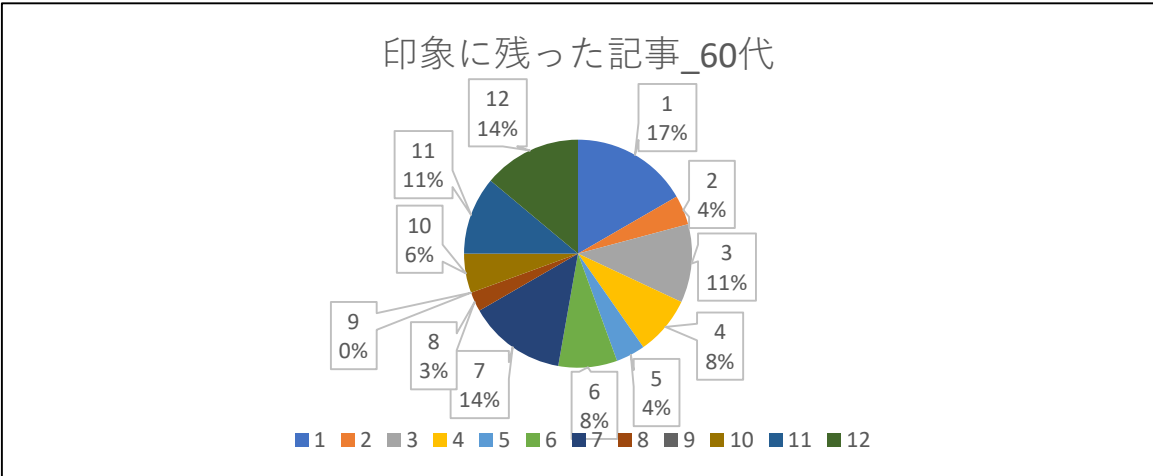


印象に残った記事_40代

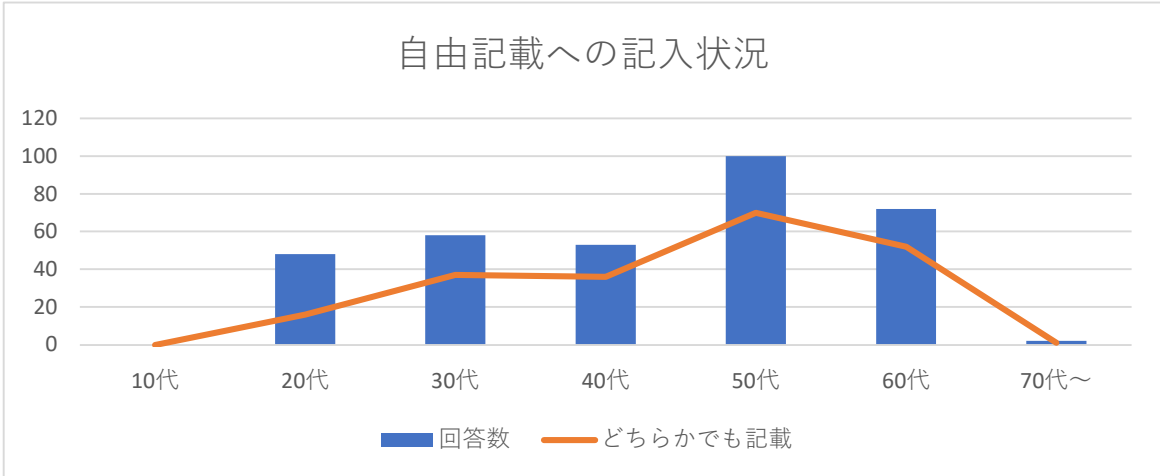


印象に残った記事_50代





6. 自由記載欄の記入状況
 (1) 全体回答数における自由記載意見の状況



(2) 自由意見の傾向分析（単語出現数からの傾向）

2023年7月号における自由記載では「職員」「スポーツ大会」「ジェンダー」の単語が多く用いられている。

<職員>

- ・会計年度任用職員の処遇改善の望む声が多い。「欠員職場多数は待遇の見直し必須、待遇改善無くして欠員減少には転じない。」(60代女性)といった欠員への対応に関する切実な声が届いている。
- ・会計年度任用職員以外の「職員」に関する意見では30代から50代にかけて、人員不足の解消を求める意見が多く、「働きやすく、かつ必要な休暇を取りやすい環境を整えてもらいたい。まずはゆとりある人員確保なのかと考える」(40代女性)届いている。

<スポーツ大会>

- ・スポーツ大会の開催を喜ぶ声が多く寄せられている
- ・機関紙記事におけるこうした「明るい記事」「堅苦しくない記事」を望む声もあり、具体的に「サークルなどの活動についても寄稿を募っては如何だろうか？」との提案も寄せられた。

<ジェンダー>

- ・全世代男女問わず「ジェンダー」に関する意見が寄せられている。「興味深い」、「考えさせられた」などのほか、「女性である自分も、結婚や子育てを経た上で、活躍できる職場であってほしいとずっと願っている」(20代女性)、「ジェンダーも含め、さまざまな多様性を認め合う社会の実現が必要」(60代女性)など社会的かつ身近な問題として受け止められる意見が多い。
- ・一方で「ジェンダーによる差別解消は社会的に重要なテーマであり、皆が公平に暮らしていくために必要な働きかけだと感じる。ただし、近年「ジェンダー平等」の主張には、「マイノリティのためならマジョリティに不利益が降り掛かってもしょうがない」と思っているのではないかというようなものが増えており、非常に嘆かわしいとも感じる。」(20代男性)や男女平等に関する意見において「いまだに私も不平等さを感じます。とくに、女性に対する男性職員からのセクハラ発言はいまだに減っていないのが現状です。生理休暇を取得したい気持ちもあるが、嫌味を言われたらどうしようなどと考えてしまい、有給で対応しているのが現状」(30代女性)のほか「多様性を認める事と、LGBT…について、そんなに騒がなきゃいけない事なのか？については、正直疑問があります。」(40代女性)との意見もあった。